

充電式ワイヤレス
5 ボタン BlueLED マウス
M-A-BL02DB シリーズ
ユーザーズマニュアル

このたびは、エレコム 充電式ワイヤレス 5 ボタン BlueLED マウス「M-A-BL02DB」シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
このマニュアルでは「M-A-BL02DB」シリーズの操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずお読みください。また、このマニュアルを読み終わったあとは、大切に保管しておいてください。
※ このマニュアルでは一部の表記を除いて「M-A-BL02DB」シリーズを「本製品」と表記しています。

安全にお使いいただくために

■絵表示の意味	
	危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電による死亡や大けがなど人身事故が生じる高度な危険があります。
	警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
	注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

- 「してはいけない」ことを示します。
- 「しなければならない」ことを示します。
- 「注意していただきたいこと」を記載しています。
- 「願いたいこと」や「参考にしていただきたいこと」を記載しています。
- 「知っていると便利なこと」を記載しています。

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

危険	
	同梱の充電用 USB ケーブルを使用し、 当社指定の充電条件を守ってください。 その他の充電ケーブルまたは条件で充電すると、充電電池が発熱、液もれ、破裂するおそれがあります。
	分解改造しないでください。 火災や感電等の原因となります。
	液もれした場合は使用しないでください。 内蔵の充電電池より液もれがあった場合は、液もれした充電電池は使用しないでください。発熱、破壊させる原因となります。
	本製品の異常に気づいたら使用を中止してください。 液もれ、変色、変形、その他今までと異なることに気づいたら使用しないでください。そのまま使い続けると、発熱、破裂するおそれがあります。
	本製品から漏れた液が体や衣服についたら、きれいな水で洗い流してください。 内蔵の充電電池の中の液が皮膚や体につくと、皮膚に傷害をおこす原因となります。

警告	
	レシーバーユニットはぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。
	レシーバーユニットは、お召様が誤って飲み込んでしまう危険がありますので、絶対にお召様の手の届かないところに保管してください。

注意	
	本製品を次のようなところには置かないでください。 ●日のあたる自動車内、直射日光のあたるところ ●暖房器具の周辺など高温になる場所 ●多湿なところ、結露をおこすところ ●平坦でないところ、振動が発生する場所 ●マグネットの近くなどの磁場が発生する場所 ●ほこりの多いところ
	本製品は防水構造ではありません。水などの液体がかららない場所で使用または保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

- 本製品の誤動作によって、重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。
- ガラスなどの透明な場所や鏡など強く反射をする場所で使用すると、光学式センサーが正しく機能せず、マウスカーソルの動きが不安定になります。
- 1ヶ月以上マウスを使用しない場合は、レシーバーユニットをパソコンから取り外してください。
- 本製品を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。
- センサーの光を直接見ると目を痛めることがありますので注意してください。
- レシーバーユニットは、お召様が誤って飲み込んでしまう危険がありますので、絶対にお召様の手の届かないところに保管してください。

- お手入れのしかた
本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

ワイヤレス(無線)についての注意事項

本製品は 2.4GHz 帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。電波方式には GFSK 方式を採用し、与干渉距離は 10m です。
2.4GHz 帯は、医療機器や Bluetooth、IEEE802.11b/11g/11n 規格の無線 LAN 機器などでも使用されています。
●本製品を使用する前に、近くで「他の無線局*」が運用されていないか確認してください。
●万一、本製品と「他の無線局*」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。
※「他の無線局」とは、本製品と同じ 2.4GHz 帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

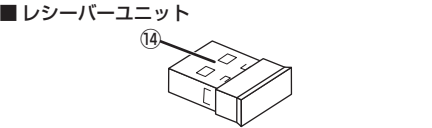
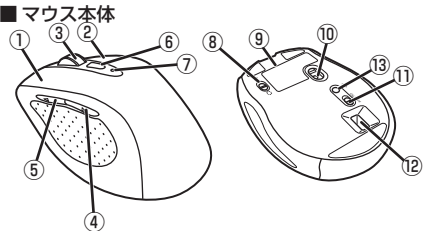
警告	
	●重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する、動作が低下する、または動作しなくなることがあります。
	●病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で電子機器や医療機器（例えばペースメーカー）などに影響を及ぼす恐れがあります。
	●航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式マウスを航空機内で使用することは、航空法で禁止されています。ご搭乗前にマウス本体の電源を切り、ご搭乗後は常にご使用にならないようお願いいたします
	※本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

パッケージ内容の確認

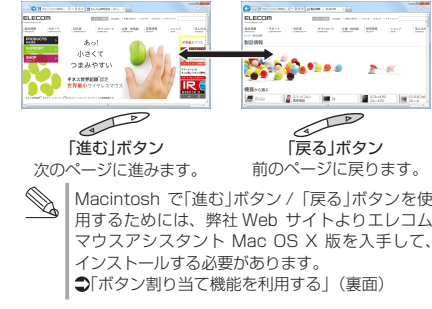
本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- マウス本体.....1 個
- レシーバーユニット.....1 個
- 充電用 USB ケーブル [USB A ⇄ mini-B] (1.8m).....1 本
- 保証書.....1 部

各部の名称とはたらき



- ① 左ボタン**
パソコンの操作の左クリックに使います。
- ② 右ボタン**
パソコンの操作の右クリックに使います。
- ③ ホイール**
指で前後に回転させたり、ボタンのように押すことで、パソコンの操作ができます。
- ④「戻る」ボタン / ⑤「進む」ボタン**
「進む」ボタン
Web ブラウザで「進む」の操作ができます。
「戻る」ボタン
Web ブラウザで「戻る」の操作ができます。



使用時の準備

マウスを充電する

初回使用時や長時間ご使用にならなかった場合は、必ず充電してからご使用ください。
充電には付属の充電用 USB ケーブルを使用します。

- 本製品の USB 端子は充電専用です。USB 接続では動作いたしません。
- 充電が完了するまで、約 2 時間かかります。
- 2 時間経過しても充電 / 電池残量表示ランプが点灯しない場合は、充電用 USB ケーブルを取り外し、いったん充電を取りやめてください。2 時間を越えて充電を続けると、電池寿命が短くなったり、故障の原因となります。

- 1** マウス本体の充電用コネクタに付属の充電用 USB ケーブルの USB [mini-B] コネクタを接続します。
- 2** 充電用 USB ケーブルの USB [A] コネクタをパソコンの USB ポートに接続します。

- コネクタの向きと挿入場所を十分に確認してください。
- 3** パソコンの電源が入っていない場合は、電源を入れます。
充電 / 電池残量表示ランプが最初数秒間赤色に点灯し、その後緑色に点灯して充電を開始します。
充電が完了すると、消灯します。

- 所定の充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。

- ⑥ カウント切替ボタン**
ボタンを押すたびに、カウント数(マウスカーソルの速度)を 800/1600 の 2 段階で切り替えができます。お買い上げ時は、800 カウントに設定されています。

- ⑦ 充電 / 電池残量表示ランプ**
 - 内蔵電池の容量が少なくなると赤色に点滅します。
 - 内蔵電池の充電中は最初数秒間赤色に点灯し、その後緑色に点灯します。
 - 内蔵電池の充電が終了して容量が十分な場合は消灯します。
 - カウント数(マウスカーソルの速度)を切り替えるときに点滅します。
 - ※ 800 カウント → 1600 カウント 切り替え時 2 回点滅
 - 1600 カウント → 800 カウント 切り替え時 1 回点滅

- ⑧ スクロールモード切り替えスイッチ**
ホイールのスクロールモードを切り替えます。
○にすると高速スクロールモードになります。
高速スクロールモードは、ホイールを勢いよく回転できます。
✕にすると一般スクロールモードになります。

- ⑨ 充電コネクタ**
付属の充電用 USB ケーブルを接続して、パソコンの USB ポートより内蔵電池を充電します。

- ⑩ 光学式センサー**
マウス本体に電源が入ると青色に点灯します。マウス本体を動かしたときに、このセンサーによってマウスの動きが検知されます。
※ センサーの光を直接見ると目を痛めることがありますので注意してください。

- ⑪ 電源スイッチ**
マウス本体の電源を入 (ON) / 切 (OFF) します。

- ⑫ レシーバーユニット収納部**
レシーバーユニットを収納します。

- ⑬ メンテナンススイッチ**
工場出荷用のため、使用できません。

- ⑭ USB コネクタ (オス)**
パソコンの USB ポートに接続します。

マウス本体の電源を入(ON)/ 切(OFF)する

- マウス本体の電源を入れる**
本製品を使用するときは、マウス本体の電源を入れます。
電源スイッチを ON の位置にスライドさせます。
充電 / 電池残量表示ランプが数秒間赤色に点灯し、その後消灯します。
※電池残量が少ないときは、一定時間赤色で点滅します。

- マウス本体の電源を切る**
本製品を使用しないときは、マウス本体の電源を切ることで、電池を節約できます。
電源スイッチを OFF の位置にスライドさせます。

- スリープ状態から復帰する**
右ボタンをクリックします。
●電池の消耗を抑えるため、電源スイッチが ON の状態で操作せずに一定時間経過すると、マウスが自動的にスリープ状態に移行します。

レシーバーユニットを収納する / 取り出す

- レシーバーユニットを収納する**
1 レシーバーユニットをレシーバーユニット収納部に収納します。

- レシーバーユニットを取り出す**
1 レシーバーユニットをレシーバーユニット収納部から取り出します。

Windows® で使用する

Step1 USB ポートを確認する

お使いのパソコンの USB ポートを確認してください。

- USB ポート
- USB ポートはどのポートでも使用できます。
- USBハブ経由でも使用できます。ただし、USBハブの電源供給能力によっては本製品が動作しない場合があります。

Step2 レシーバーユニットを取り付ける

- 1** パソコンを起動します。
 - Windows® の起動時にログオンするアカウント(ユーザー名)を尋ねられた場合は、必ず「コンピュータの管理者」権限があるアカウントでログオンしてください。
 - Windows® が起動し、操作可能な状態になるまでお待ちください。

- 2** レシーバーユニットをパソコンの USB ポートに挿入します。

- この部分に挿入します。
- コネクタの向きと挿入場所を十分に確認してください。
- 挿入時に、強い抵抗を感じる場合は、コネクタの形状と向きが正しいか確認してください。無理に押し込むとコネクタが破損したり、けがをする恐れがあります。

- 3** Windows 標準マウスドライバーが自動的にインストールされます。

Mac OS X で使用する

Step1 USB ポートを確認する

お使いのパソコンの USB ポートを確認してください。

- USB ポート
- USB ポートはどのポートでも使用できます。
- USBハブ経由でも使用できます。ただし、USBハブの電源供給能力によっては本製品が動作しない場合があります。

Step2 レシーバーユニットを取り付ける

- 1** パソコンを起動します。
 - Macintosh が起動し、操作可能な状態になるまでお待ちください。
- 2** レシーバーユニットを Macintosh の USB ポートに挿入します。

- この部分に挿入します。
- コネクタの向きと挿入場所を十分に確認してください。
- 差し込みの際、強い抵抗を感じる場合は、コネクタの形状と向きが正しいか確認してください。無理に押し込むとコネクタが破損したり、けがをする恐れがあります。

- 3** マウスドライバーが自動的にインストールされます。

- レシーバーユニットを取り外す場合**
本製品はホットプラグに対応しています。パソコンが起動した状態でもレシーバーユニットを取り外すことができます。

Step3 動作を確認する

Windows® の「Internet Explorer」でマウスの上下スクロールが正常に動作しているかを確認します。

- 1** Internet Explorer で好みのホームページを表示させ、画面のサイズを上下のスクロールバーが表示されるように変更します。
※ここでは例としてエレコムのホームページを表示させています。

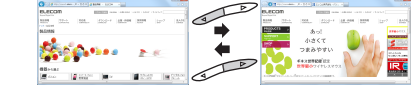


- 2** マウスのホイールを前後に動かします。指の動きに合わせて画面が上下にスクロールすれば、正常です。

- スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

- 3** 表示されているページ上のいずれかのリンクをクリックし、次のページに進みます。

- 4** 「戻る」ボタンを押すと前のページに戻り、「進む」ボタンを押すと次のページに進めば正常です。



- アプリケーションによっては、「進む」ボタン / 「戻る」ボタンを操作しても動作しない場合があります。

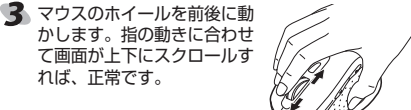
Step3 動作を確認する

Mac OS X に付属の「Safari」でマウスの上下左右のスクロールが正常に動作しているかを確認します。

- 1** Dock に登録されている「Safari」のアイコンをクリックします。
「Safari」が起動します。

- Safari が Dock に登録されていない場合は、「アプリケーション」フォルダ内の「Safari」をダブルクリックします。

- 2** Safari で好みのホームページを表示させ、画面のサイズを上下左右のスクロールバーが表示されるように変更します。
※ここでは例としてエレコムのホームページを表示させています。



- 3** マウスのホイールを前後に動かします。指の動きに合わせて画面が上下にスクロールすれば、正常です。

- スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。
- Macintosh で「進む」ボタン / 「戻る」ボタンを使用するには弊社 Web サイトよりエレコム マウスアシスタント Mac OS X 版を入手してインストールする必要があります。
- 裏面の「ボタン割り当て機能を利用する」にお進みください。

- Mac OS X 10.7 から上下スクロール方向が従来と逆になりました。マウス設定画面で変更が可能です。

- パソコンの起動中に何度も抜き差しを繰り返すと、動作が不安定になることがあります。このような場合は、パソコンを再起動してください。

